

## 採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：学際、複合、新領域】

大 学 名	九州工業大学	整理番号	J - 3
拠点のプログラム名称	生物とロボットが織りなす脳情報工学の世界		
中核となる専攻等名	生命体工学研究科脳情報専攻		
事業推進担当者	(リダー) 山川 烈 外10名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>本拠点は、von Neumannの蓄積プログラム方式に準拠した従来の計算機科学の殻を破り、生命体の脳や神経系の情報処理機能およびその発現行動に学んで、全く新しい情報処理パラダイムを創製しようとするものである。すなわち、外界からインプットされた情報を、予め与えられたプログラムに従って処理をするのではなく、生物が日々の生命活動の中で行っているように、自ら外界環境へ働きかけ、それに対する外界からの反応を検知し処理をするという、「自己と環境との相互作用」により自己組織的に構築されていく情報処理システムを本拠点の研究対象とする。本拠点の網羅する学問分野および研究領域は極めて広く、かつ学際的であり、5年後には新しい学問領域「脳情報工学」の創出も期待できる。本拠点が深く関係する学問分野としては、脳科学および神経科学、心理学、人類動態学、言語科学、電気・電子工学、計算機科学、ロボット工学などである。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>大学の将来構想において本拠点を重要基盤と位置づけ、本プログラムに対する支援体制を充実させていることは高く評価できる。脳情報工学の構築に必要な多様な分野での十分なポテンシャルを備え、小規模ながら先鋭化した拠点形成が可能である。また、博士前期後期課程における独創的な一貫教育制度を取り入れた教育構想には高水準の若手人材の育成を期待したい。</p>			